

令和4年度 第1回 大津町地域公共交通会議

日時：令和4年4月19日（火）10：00～

場所：大津町役場庁舎3階 302会議室

【事務局】

ただいまより、令和4年度第1回大津町地域公共交通会議を開催いたします。よろしくお願いいたします。それでは初めに、本会議の会長柿本会長よりご挨拶をお願いいたします。

【会長】

皆様おはようございます。熊本大学の柿本です。本日の会議は、大津町地域公共交通計画素案についての議論です。これは昨年度の大津町地域公共交通計画の策定に関する各種調査結果等を取りまとめて、今後大津町が取り組んでいく内容について意見を頂ければと思います。大津町としては、隣の菊陽町へのTSMC進出、来年度の南阿蘇鉄道が肥後大津駅まで乗入計画、TSMC関係者の移動や空港アクセスなど、鉄道の在り方についても変わってくるかもしれません。また、高齢化も進んでいます。コロナ禍でなかなか計画が上手く進まない状況ではありますが、必ず実行可能ものを計画し、皆様から忌憚ない意見を頂きながら進めさせていただければと存じます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

柿本会長ありがとうございました。それでは、議事に入る前に本日の会議資料の確認をさせていただきます。まずA4用紙1枚目が式次第、2枚目が令和4年度大津町地域公共交通会議委員名簿、3枚目が席次表、4枚目が大津町地域公共交通会議設置要綱、5枚目が大津町地域公共交通計画策定の今後のスケジュールについて、6枚目が意見聴取票、次にA4冊子の大津町地域公共交通計画(素案)、A3用紙で2種類の大津町地域公共交通計画案(案)について、中心部交通の基本方針(経過報告)についてとなります。皆様、過不足はございませんでしょうか。なお、本日の議題としまして、令和3年度収支決算報告及び令和4年度予算(案)について、議題を提出させていただく予定でしたが、計画策定に係る調査業務に対する国からの補助金が4月中に入る予定となっております。決算及び予算(案)につきましては、次回5月のこの会議で議題に挙げさせていただきたいと思っております。それでは、これからの議事進行は柿本会長にお願いします。

【会長】

それでは、進行させていただきます。早速議事を進めさせていただきます。議事①大津町地域公共交通計画案(素案)について、事務局より説明をお願いします。

～ 議事①大津町地域公共交通計画案(素案)について事務局より説明 ～

【会長】

ありがとうございました。ただいまご説明いただきました、大津町の地域公共交通計画(素案)につきましては、各種調査結果を踏まえて課題を挙げ、その課題に対する目標、目標を達成するため

の12の事業を掲げており、そこから重点的に取り組む施策を掲げています。その中でも中心部の交通につきましては、別紙に詳細がございます。まずは、最初に説明されました地域公共交通計画(素案)につきまして、何かご質問やご意見等がありましたらお願いします。

【委員】

観光バスの労働組合をしております。問い合わせですけど、前回の書面会議において、素案、ダイジェスト版を含めて、バスへの補助金について、町からの支出が明記してあるなかで、国からの特別地方交付税を受けられているのであれば明記すべきではないでしょうか。住民の方は、地方財政からこれだけの補助が出ているということを計画書に明記したほうが分かりやすいのではと問題提起をしました。

しかしながら、本日の資料にはその明記がないです。回答としては、私が指摘した通りでありますので、書面に明記しますとのことでした。確認をお願いします。

【会長】

国からの特別地方交付税について明記されていないことについて、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

今、おっしゃっていただいた通りでございますが、正確に情報を伝えるべきですが、資料に手違いがございまして反映されておりませんでした。次回の資料に反映いたします。申し訳ございません。

【委員】

住民の方には、ご理解いただいたうえで進めたいと思っておりますので、それを反映させる内容について、ここで公表していただけないでしょうか。

【事務局】

基本的にはご意見いただいた通り、補助金の内訳の割合を示すことを考えております。

【委員】

割合までですか。

【事務局】

はい、割合まで示します。

【会長】

5月の会議においては、補助金を反映することで進めます。他にございませんか。

私からですが、KPIに細かく数値が書かれていますが、矛盾しているように思います。目標値3の町民1人当たりの公共交通に係る財政負担額を1人当たり1,868円と挙げられていますが、色々

な事業が計画されるとコストが増加していくと思われます。また、環境整備に関する費用が入っていないかと思ひます。中心部の事業や乗合タクシーの利用促進ですが、基本的に利用者が増えるだけ運行経費が大きくなり、財政負担額も大きくなってくるはずです。そうすると、1人当たりの財政負担額もますます大きくなっていくかと思ひます。中心部の事業についても負担額は約何千万単位、どこかで大幅にコストカットしない限りは厳しいです。こういった内容の矛盾はいかがでしようか。

【事務局】

一点目の環境整備、乗り場の利用しやすさに関する整備の部分につきましては、直接利用者が増えるようなことにはならず、影響は少ないかと思ひます。今、財政負担額を計上しておひますのは、年間の運行経費、運行収支のみで、駅の利用のしやすさなどの環境整備は外しておひます。あくまで、維持に必要な経費、収入の部分を加味してこの数字を算出しておひます。持続可能かどうかを計る指標となっておひます。

もう一点は、中心部の事業など新しい事業を行ったときに経費が増えるので、1人当たりの財政負担額が増えるのではというお話ですが、1人当たりには財政負担額を換算しているのは、循環バスでも利用者が増えれば増えるほど、1人当たりにかけていくコストという考え方では少なくなっていきますので、単純な経費の増大ではなく、できるだけ多くの方に使っただくことで、1人当たりのコストが下げられるのではないかと考えておひます。

【会長】

町民1人当たりの考え方ではなく、利用者1人当たりなのでしようか。利用者1人当たりだとコストを抑えられますが、町民1人当たりだとどうしても財政負担額が大きくなっていくかと思ひます。利用者1人当たりのコストを載せるようお願いします。また、空港ライナー年間利用者数の目標値が令和3年の現在値と比較してかなり高いですが、ほぼ財政的には持ち出しとなりますので、町民1人当たりには換算すると経費が積算されてくるはずなので整理してください。

他にございませんか。町の執行部の方に確認したいのですが、中心部交通の基本方針についてです。そもそもの中心部交通を導入する目的としては、10数年前はどちらかという旧市街地の活性化を目的として検討されてきたかと思ひます。今回の中心部の基本方針をみると、国道57号線の方に重点を置っておひ、そもそもの目的や目標と違ってきていますが、町の方針としてシフトしていくことでよろしいでしようか。

【事務局】

以前は確かに、旧県道沿いの賑わいや活性化を重点におひていた時代もありましたが、今回の公共交通の見直しにあたりましては、住民ニーズを重視して再編を目指すところでおひます。

【会長】

まちづくりの戦略がよく分からないのですが、目標や目的はどうなっておひますか。

【事務局】

今回の公共交通の見直しにあたっては、住民ニーズを重視しているのですが、ご指摘いただいている町の活性化については、観光振興など公共交通とは別の視点でまちの賑わい活性化を目指していきたいと思っております。

【会長】

他にございませんでしょうか。それでは事務局より、意見聴取票について説明をお願いします。

【事務局】

今回、非常に量の多い資料で長時間ご説明させていただきましたので、この場でご意見がまとまらない方もいらっしゃるかと思います。皆様のお手元にある意見票に、ご意見ご質問をお願いいたします。

【会長】

皆様、素案に対してのご意見を意見票にてご提出をお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、議事②大津町地域公共交通計画策定の今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

～ 議事②大津町地域公共交通計画策定の今後のスケジュールについて事務局より説明 ～

【会長】

ありがとうございました。ただいま事務局からご説明頂きました大津町地域公共交通計画策定の今後のスケジュールについて、何かご質問等ございますでしょうか。大津町地域公共交通計画案(案)について、および中心部交通の基本方針(経過報告)について、大津町地域公共交通計画策定の今後のスケジュールについてご説明させていただきました。以上で、議事について終了となります。せっかくの機会なので、委員の方から何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは本日の議事は終了させていただきます。以降のご意見に関しましては、意見票でお願いいたします。

【事務局】

柿本会長ありがとうございました。委員の皆様においては、円滑な議事の進行にご協力いただきましてありがとうございました。これをもちまして令和4年度第1回大津町地域公共交通会議を終了いたします。